

旅行報告書

会派名 蘇心会

会派代表者 塩崎 達朗

平成27年9月3日

旅行者氏名	旅行者氏名
塩崎 達朗	

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

- 1 期間 平成27年7月28日(火曜日)から
平成27年7月30日(木曜日)まで

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
千葉県鎌ヶ谷市	空き家バンク(庁内活用版)について
東京都足立区	老朽家屋解体工事助成について
東京都新宿区	無接道敷地の建替えの許可基準の見直しについて(老朽化建築物の建替え促進)

行政視察報告書

1 派遣者

- 〔蘇心会〕 塩崎達朗
- 〔真志会〕 高岡利治、谷口明弘
- 〔新緑会〕 桑原一知
- 〔水進会〕 小路貴紀

2 視察日時・視察先・視察項目

- 7月28日(火) 千葉県鎌ヶ谷市 「空き家バンク(庁内活用版)について」
- 7月29日(水) 東京都足立区 「老朽家屋解体工事助成について」
- 東京都新宿区 「無接道敷地の建替えの許可基準の見直しについて(老朽化建築物の建替え促進)」
- 7月30日(木) 移動日

3 視察の概要

○7月28日(火) 千葉県鎌ヶ谷市「空き家バンク」について視察

今回視察で訪ねた鎌ヶ谷市は千葉県の北西部、北総台地のなだらかな緑の大地の上にひろがり都心からは、25キロメートル圏内で鉄道が4路線有り30分で行く事ができる。また面積は約21K㎡、人口が108,522人、市制施行は昭和46年9月1日(市町村合併はしていない)の市である。

さて空き家バンクについてですが、まず空き家の状況を調べるために火災予防の視点から消防本部が3年間をかけて市内ローラーによる目視で283件を確認した。課題としては目視では判断できない空き家(使用できるのに転居等で空き家となっている)の確認が困難であったとの事。空き家の確認数は水俣市より少ない。都市部に近い鎌ヶ谷市では不動産業を通して賃貸契約をする所有者も多い、(庁内活用版)は空き家を庁内の各部署で有効活用するのに使うために作ったもので(家庭的保育事業や地域の活動拠点等)活用に必要な改修費用の一部を助成する事業となっている。水俣市の空き家対策とは少し事情が違うように思えるが、空き家を市が借り上げて災害時等の一時避難所、地域のコミュニティ施設などとして有効活用するのは水俣市でも考えて見ても良いのではと思いました。

○7月29日(水) 足立区役所「老朽家屋解体工事助成」についての視察

2日目の視察は、北野武、雛形あきこ、尾崎豊などの有名人出身者の地である都内の足立区を訪問しました。面積は53.25K㎡で東京23区では第3位の広さで高低差5.8mの平坦な街である。(人口674,111人)

水俣市でも問題になりつつある空き家の「老朽危険家屋」の問題にいち早く取り組んでいる自治体である。切っ掛けとなったのは東日本大震災との事で「何かあってからでは遅すぎる」と足立区老朽家屋等の適正管理に関する条例を平成23年に公布している。やはり危険な空き家は早急に解体を即す措置が必要であると思う。水俣市でも所有者に対し現在の建物の状況を知らせ危険な状態を解消してもらいたい、解体工事にかかる費用に助成金を出すなどを検討する空き家対策チーム(仮名)の様な専任組織を立ち上げる必要があると思う。

○7月29日(水)新宿区「無接道敷地の建替えの許可基準の見直し(老朽化建物の建て替え促進)」について視察

午後からは、新宿区を訪ね老朽建物の建替え促進事業について話を聞いた。(人口330,700人、面積18.23Km²)新宿区はお昼のテレビでおなじみだったアルタがある所と言うのが私のイメージで周りはビルばかりと思っていましたが、いざいと古い木造建築住宅が密集した部分が多くあるとの事でした。その密集住宅地では4m道路に満たない狭い道に接した建物が多く、防災上非常に問題になっています。都市直下型地震が叫ばれている今日、地震に弱い木造住宅密集地域の老朽建築物の建替えを促進することにし無接道敷地の建替えの許可基準を見直し今年4月1日から施行している。水俣市でも木造住宅密集地域があるとは思いますが地域性の違いはありますが参考にしたいものです。

旅行報告書

会派名 蘇心会

会派代表者 塩崎 達朗

平成27年11月20日

旅行者氏名	旅行者氏名
塩崎 達朗	

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

記

- 1 期間 自:平成27年11月16日(月曜日)
至:平成27年11月19日(木曜日) 3泊4日

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
富山県富山市	農業の6次産業化等について
富山県立イタイイタイ病資料館	イタイイタイ病資料館見学等
富山県氷見市	北陸新幹線開業に伴う観光振興施策等について
石川県七尾市(榊スギヨ)	ご当地ヒーローによる食育等企業の社会貢献活動及び企業並びに地域のPR効果等について

行政視察報告書

1 派遣者

〔蘇心会〕 塩崎達朗 〔真志会〕 高岡利治、谷口明弘 〔新緑会〕 桑原一知
〔水進会〕 小路貴紀 〔政風クラブ〕 岩阪雅文 〔公明党〕 牧下恭之
〔自由民主党〕 松本和幸 〔政進クラブ〕 中村幸治 田口憲雄

2 視察日時・視察先・視察項目

11月16日(月) 移動日

11月17日(火) 富山市役所 「農業の6次産業化等について」

県立イタイイタイ病資料館「イタイイタイ病資料館見学等」

11月18日(水) 氷見市役所 「北陸新幹線開業に伴う観光振興施策等について」

(株)スギヨ 「ご当地ヒーローによる食育活動等について」

11月19日(木) 移動日(市内視察等あり)

3 視察の概要

○11月17日(火) 富山市役所 「農業の6次産業化等」について視察

今回視察で訪ねた富山市は平成17年4月1日に1市4町2村の新設合併をした新しい市で総面積は1,241.7K㎡である。(県庁所在都市では2番目の広さ)森林面積が市域の7割を占め、水と地熱資源量も豊富である。

さて六次産業化等についてですが、富山県の水田割合は全国トップで米づくりが主体となっている。農業に対する課題は「農家数の減少、耕作放棄地の拡大、高齢化の進展」と水俣市の農業と同じような問題をかかえています。市内の農家では特産品をつかって米粉パン、シフォンケーキ、柿酢ソースなどを製品化し販売しているがどれも小さな取組みで課題の解消には至っていない。販売は、とやまとれたてネットワーク事業として「地場もん屋」を作り新市一体の地産地消の推進をめざしている。そして新たな事業として植物栽培工場を整備し「エゴマ」の生産、加工、流通販売までを一体的に行う6次産業化を推進し地域の特産品化や雇用創出を図るとともに、健康長寿都市をめざしている。水俣市でも耕作放棄地を市が基盤整備し大規模優良農地として再生し企業や新規就農者等、意欲的な農業の担い手に農地を貸与して活用してもらうようにしたらどうかと考える。

*健康食品であるエゴマに目をつけて生産、加工、流通販売まで手がけるとは、流石「くすりの街」富山と感心させられました。

○11月17日(火) イタイイタイ病資料館見学等

午後からは、日本の四大公害病の一つであるイタイイタイ病資料館を見学しました。

資料館の中は、子供たちにもわかりやすい展示の仕方、ジオラマに映像と絵本を組み合わせた解説や、さわったりできる展示物、大スクリーンでの臨場感あふれる映像など興味をもって学べる工夫が目を見せました。解説にはボランティアの人も参加していて「音声ガイド」にて解説を5カ国語で聞けるようになっていました。そして、患者のご家族などでイタイタイ病のおそろしさを実感し、多くの問題を乗り越えてきた「語り部」の方から貴重な体験を聴くことが出来ました。

この病気は、神岡鉱山から排出されたカドミウムが神通川の水や流域を汚染し、川水や汚染された農地に実った米などを通じて体内に入ることによって引き起こされました。今では美しい水と大地がよみがえっていますが、患者救済や健康調査は引き続き行われています。

水俣病資料館も改修されますが、見学に訪れる人達に正確でわかりやすい解説や展示の仕方になることを期待したいと思います。

- 11月18日(水) 氷見市役所「北陸新幹線開業に伴う観光振興施策等」について視察
視察二日目は、富山県の北西部に位置し人口50,303人で農業・漁業を(はとむぎ・氷見米・氷見牛・ひみ寒ぶりなど)主な産業としている氷見市を訪問しました。まず市役所の建物が、統廃合で空いた高校の体育館をリホームして立派に活用されているのに驚きました。(総工費:約15億円)

さて北陸新幹線は東京・金沢間を走り、富山まで最速で2時間8分でむすばれています。沿線から遠い氷見市では、一番近い停車駅の新高岡駅との間でバスなどの2次交通の整備、レンタカー会社とのタイアップキャンペーンや利用者への特典、情報発信の強化(北陸新幹線沿線の主要都市に向けて積極的な観光PRを展開)観光ウェブサイトの一斉刷新、プロモーションムービーの製作、新パンフレット・ポスターの活用など、いかにして観光客に来てもらいリピート率を上げ、宿泊者数を増やす色々な施策を行っています。また、九州新幹線が開業したとき熊本県を行政視察に訪れ、参考にしたいと言うことです。

富山県自体が観光都市であって、一年を通して観光客で賑わっていて、水俣市から見ると大変うらやましい限りですが、北陸新幹線開業によって金沢の一人勝ちにならないよう、氷見市はさらに食を中心としてアピールして行くとの事です。水俣市も、ななつ星が停車するのに伴い色々な施策を近隣の市や町を巻きこんで展開して(特色のある物産品やグッズなども)行っても良いのではと思います。そしてもっと水俣市に宿泊客数とリピーターを増やして行くべきだと思います。

- 11月18日(水) (株)スギヨ「ご当地ヒーローによる食育活動等について」

今回訪ねた(株)スギヨは水産ねり生産業界で「かに風味かまぼこ」を最初に世に出した企業で歴史は古く1640年から続く企業である。平成17年農業経営基盤促進

法が改正され、企業の農業参入が緩和されたのを機に平成19年より農業事業へ参入を果たし水産加工品と自家栽培した農作物を融合させて商品開発の幅を広げている。農業への参入によって一次産業から三次産業にわたるひとつの循環サイクルが生まれようとしている。担い手が少なくなりつつある地域農業の振興を図り地域の活性化に寄与している。

2011年から食品メーカーとして、地域貢献の取組みとして食べ物の大切さを知ってもらうため、食育活動を開始している。年間3,000人の児童を工場見学に受け入れご当地ヒーロー、スギヨ仮面が児童の好き嫌いをなくすため、いろんな活動に参加して活躍している。保育園児や小学生からお礼の手紙を頂き成果も上がっている。最初スギヨ仮面と言うヒーローをつくらうとした時、役員会では全員が反対で社長だけがやると言ったそうです。さすが社長！！全国区のヒーローになると思います。是非、水俣市にも出かけてきてほしいと思います。

旅行報告書

会派名 蘇心会

会派代表者 塩崎 達朗

平成28年2月15日

旅行者氏名	旅行者氏名
塩崎 達朗	

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

- 1 期間 平成28年2月9日(火曜日)から
平成28年2月9日(火曜日)まで

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
福岡県福岡市	自治体向けタブレット端末ICT推進セミナー 「ICT推進から始まる自治体イノベーション」

1、派遣者

〔真志会〕高岡利治、谷口明弘、〔水進会〕小路貴紀
〔新緑会〕桑原一知、〔蘇心会〕塩崎達朗

2、視察日時、視察先、視察項目

2月 9日 (火) 福岡市 「自治体向けタブレット端末
ICT推進セミナー」
2月10日 (水) 移動日 (帰水)

3、視察概要

2月9日 (火) 福岡市「自治体向けタブレット端末
ICT推進セミナー」について

今回は、東京インタープレイ (株) 主催の「ICT推進から始まる自治体イノベーション」と題したセミナーを受けてきました。この会社は、Sidobooksというクラウドアプリをタブレット端末に入れて、ペーパーレス議会システムを推奨しています。導入自治体は現在21自治体、内20の議会です。平成27年11月から天草市議会・執行部でも導入運用しています。

この自治体向けタブレット端末導入の利点として、常に正確な情報を共有でき、必要な資料が全て揃っていて、印刷業務が大幅に減ったなど業務効率化を実現。議員活動でも資料を使って住民の皆さんへの説明、写真・動画を使った情報伝達、一般質問や議会報告会でも活躍しています。

機能として本のページをめくる感覚で読み進むことができ、手書きメモや画像メモもできる。そして、「横断検索」と言うのがあり、全ての文書の本文を検索し検索結果は瞬時に一覧で表示しタップで閲覧でき、定例会ごとに蓄積されていく議案や資料などから簡単に目的の資料を探すことができます。セキュリティは通信環境の管理代行サービス (株) ティーガイアがサポートしています。

セミナーには、鹿児島県指宿市、山口県下関市、佐賀県唐津市、福岡県飯塚市、大分県由布市・別府市など15の地域から県議会議員・市議会議員・県市職員の方達が参加しておられました。

我が市議会でも現状の資料配布に関わるコストの算出や予算などを調べた上で導入検討する価値は有ると思います。